

## 『処置法に関するQ&amp;Aと要点、注意点』

## 『質問』

質問 01 「心機能が減弱している時の処置は？」

「三陰交」「陰陵泉」「労宮」に留鍼雀啄（脾経は流れを良くする為に使用）。

質問 02 「下腹部が非常に軟弱で、脈状が「細・弱」の時に「副腎処置」を優先して良いか？」

「弱・短」の時は、心機能の改善を優先して「三・陰・労」の処置をする。

「心」が改善されてから「副腎処置」を行なう。

「心」の改善は最優先です、これが改善されない時は「副腎処置」をやっても効果が無いので、「三・陰・労」と「百会」は30～40分以上の留鍼。

質問 03 「「S・U」「F・U」等「照海」「復溜」の使い分けは？」

- ・「復溜」～「照海」の代用（急性症）
- ・「照海」～多用できる（慢性症）
- ・「太谿」～咳・痰等、喉の症状（喘息には「陰陵泉」「尺沢」の留鍼が効果的）。
- ・「築瀆」～解毒、肥満者。

\* この中のどれかを使う、一緒には使わない。

質問 04 「骨盤うっ血処置の、商丘、陰陵泉、郗門又は間使の使い分けは？」

圧痛のある方を考えればいい。

質問 05 「横V字椎間刺鍼と交感神経機能促進処置は同じですか？」

いいえ違います。

- ・「横V字椎間刺鍼」は血管運動神経に関与しています、「遅・数」関係ない処置は椎間の狭小部の上外方の横突起の下にもぐりこませるようにV字で刺鍼。
- ・「交感神経機能促進処置」は脈状が「沈、遅」の時に副交感神経が強いので、交感神経の機能を賦活させる目的の処置です。  
処置は関係臓器、器官に相当する椎骨の高さの「督脈、膀胱経」上に雀啄補鍼。

質問 06 「瘀血が両方にある場合、両方やって良いですか？」

はい、構いませんよ。

「瘀血処置」は、「中封」だけでも取れますが、なかなか取れない時は、じっくり時間をかけてやる事が大事です。

## 質問07 「メニエルのメマイ点は？」

耳鍼は、治療の補助として使うと効果は確かにあります、特に「メマイ点」は効果大です。

場所は、「ここがそうだ！」というより、個人個人の体質が違いうように、位置も多少ずれがあると思います。

「脳点」から「枕点」辺りのエリアで、「ノイロメーター」の反応や「鍼管」を使つての圧痛の強い所です、1点というよりエリアとして捉えた方がいいようです。

下の図に「メマイ点」「扁桃点」以外に長野式で頻用する耳鍼点を記入しました先代は時々使っていました。

- ① メマイ点  
 ② 扁桃点  
 ③ 内鼻点  
 ④ 耳背扁桃部
- ①～③は刺鍼後皮内鍼の保定（前方へ向けて水平刺）  
 （3ミリの皮内鍼を使用、円皮鍼は痛いので避けた方がよい）

②の「扁桃点」は、風邪が長引く時、慢性扁桃炎に使用。

③の「内鼻点」は、耳珠の裏側にあります（鼻炎 e t c に効果があります）。

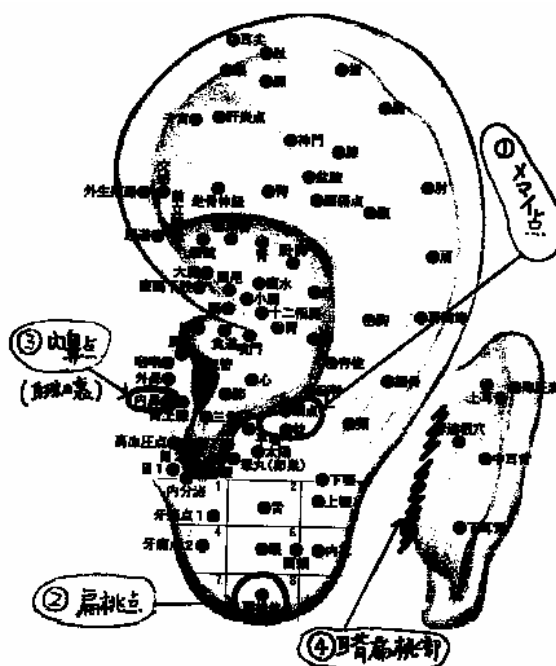
④の「耳背扁桃部」は、耳背の付け根のエリアで、硬いところを 2～3 箇所、浅刺補鍼し、皮内鍼は留めない。

\*それぞれ、反応の強さによって処置をします。

（片方の耳に反応が強ければ片方の耳のみ、両方あれば両方の耳）

\*耳鍼は頑固な症状の時によく使う。

\*皮内鍼のテープは和紙のテープで、枕を付けずに 2 重に重ねて張ると良い。



**質問 08 「留鍼を要する処置は？」**

長野式では「雀啄」を重視に考えていますので、何でも「留鍼」と考えなくてもいいです。

「自律神経処置」「扁桃処置」等も殆んど雀啄で、留鍼はしません。

主に「留鍼」をする処置としては、

- ・ 副腎処置（「S・U」、「F・U・尺」、「F・U・天・三」）

他にも、

- ・ 細脈処置（「三陰交・内関」）
- ・ 強心処置（「三陰交・陰陵泉・労宮」）
- ・ 胃の気（「胃の気3点」胃の気の脈が弱い時、流動性が出るまで雀啄留鍼）
- ・ 喘息（「陰陵泉・太谿・尺沢」に咳が弱まるまで雀啄留鍼）

**質問 09 「肝実処置は、遅脈と数脈で、両方使っても良いのでしょうか？」**

遅脈は、陰だから、背部の陽を使う。数脈は、陽だから、手足の陰を使う。陰陽のバランスを取る意味。

- ・ 数脈時、右の「復溜、漏谷、尺沢（曲池）、郄門、少海」。
- ・ 遅脈時、「左会陽、右大腸俞」を使う。

**質問 10 「肝実処置は数脈でも、遅脈でも無い場合、どちらを使ったら良いですか？」**

極端な数脈、極端な遅脈でなければ、それぞれ両方使っても良い。

**質問 11 「肝実処置の施灸数は？ また5穴総てに施灸するのですか？」**

7壮ずつ、5穴総てやります、毎日根気よく施灸が必要です。

**質問 12 「所見の反応で扁桃の反応が出ていないのに扁桃処置をやる理由は？」**

基本処置ですので、反応無くてもやっていいですよ。

**質問 13 「実技で、扁桃処置なのに、「天牖」に刺鍼しなかったのはなぜですか？」**

反応が無かったので省きましたが、「天牖」もいいですよ。体の状況を把握して、取れていれば全部しなくて良い。

**質問 14 「「丘墟・上四瀆」の雀啄は弱い方がいいですか？」**

弱いというより、通常の雀啄刺激で良いですよ。状態を見ながら強弱を考えれば良いです、臨機応変に。

**質問 15 「丘墟・上四瀆等、健側を使ってみてダメな場合患側を使って良いのでしょうか？」**

あくまでも原則としてですから、両方使っても構いません。

**質問 16 「両側使った方が効果があるのですか？」**

そういうわけではありませんが、過敏な人には最小限の刺激の方が良いでしょうね、体の状態を診ながら。

**質問 17 「陽輔・外関の使い方で側弯や、胸鎖乳突筋緊張が無くても、使ってよいでしょうか？」**

- ・ 中枢神経→丘墟・上四瀆
  - ・ 末梢神経→陽輔・外関 (原則ではあるが、絶対ではない)
  - ① 側弯(数脉、側弯、陽輔(+)) ⇒陽輔・外関
  - ② 末梢神経障害処置 ⇒陽輔・外関 (条件に関係なく使用可)
- \* 理屈ではない、応用を利かしたほうが良い。

**質問 18 「「帯脈」は、患側ですか？」**

患側でもいいですが、スカスカの所より、硬いところをやらないと効果がない両方がよりよいです、いきなり「帯脈」では効きません。

**質問 19 「切皮瀉は深部にある痛みに対しても効きますか？」**

効果はあります、腰や膝にもいいです。

治療上の注意点、要点

- 01) 「S・U・天・三」の使用は、より頑固で慢性的なもの、通常は「S・U・尺」でよい。
- 02) 交感神経促進処置と横V字椎間刺鍼の使い分け
  - ・「交感神経促進処置」～沈遅等の弱い時に『督脈や膀胱経』を使う。(神経がポイント)
  - ・「横V字椎間刺鍼」～数も遅も関係なく『横突起下より交感神経幹を目標』に雀啄。(血管がポイント)
- 03) 「中腕」「足三里」は『胃実証』(胃酸過多、逆流性食道炎等)には禁忌、逆効果になる。
- 04) 「不整脈処置」⇒「副腎処置」+「瘀血処置」+「太白、三陰交」。
- 05) 「筋肉系」は錐体路系が関与「丘墟・上四瀆」、  
「感覚系」は脳脊髄神経系が関与する「陽輔・外関」。
- 06) 滑脉処置の時の使い分け
  - 「脾経」～粘膜系全般に使用可、全てに当てはまる。
  - 「肝経」～婦人科系粘膜と、泌尿器系粘膜に使用。

- 07) 眼科処置の効能は、「目の疲れ、涙が出る又は出ない、緑内障、白内障、仮性近視等」  
(仮性近視は、中学生以下で、両親共に目が悪くない場合治りやすい)
- 08) 気・水穴処置は「実」に対する処置である、実で流れが滞っているものを流す。
- 09) 眼科処置は、眼窩の際に眼球に当てないように、1寸0～1番で、ほとんど切皮程度。
- 10) 「陽輔・外関」は即効性のある処置、「丘墟・上四瀆」とは違った効き目がある。
- 11) 副腎処置「照海、兪府」は、副腎機能を調節するので、「亢進・低下」共に使用可。
- 12) 自律神経調整処置 亢進時～ネーブル、趾間穴、イヒコン等。  
低下時～背部兪穴等。
- 13) 「腎虚」で下腹部虚している場合「復溜と列欠或いは経渠」で力を補うが、「復溜、陰谷」(腎の気水穴)を使用すると腎の力を落としてしまうので注意が必要である。
- 14) 「腰三角部」(上仙～兩大腸兪を結んだ線)は脊柱起立筋の起始部にあたり、負荷が強くなる所です。そのため、坐骨神経痛、下肢痛、肩凝り等をおこしやすい。  
充分に雀啄して、硬化部を解していく。
- 15) 「後帯脈」は膀胱経の2行線の位置に相当するが、  
教科書的な取穴ではなく、硬いところをさぐって雀啄する。  
この雀啄の場合も、機械的な雀啄ではダメ、丹念にじっくり雀啄をする。
- 16) 「胃経」は陽経の王である為、「胃の気」(中脉)が弱い場合は、先に中脉を出さないと、  
他の処置をしても効果が薄い。先に中脉を出してから、次の処置に移っていく。
- 17) 高齢者は肺機能が低下しやすい為、「魄戸、膏肓」あたりに反応が出る。  
処置はごく浅めで「切皮補」吸気抜鍼。
- 18) 瘀血の反応は、腹は「左」にでるが、背部は特に「右膈兪」にでる事が多い。
- 19) 「洪・遅」の時は「小腸兪」に取るが、「洪・数」の時は「関元」に取る。
- 20) 骨盤内虚血時における「八髎穴」の灸頭鍼は、特に「次髎」がよい。
- 21) 「胃の気3点処置」は、凝りが強い時等は、4～5点でも構わない。
- 22) 「弱脉」は最優先に処置しなければならない。  
三陰交、陰陵泉、労宮、百会に20～30分留鍼、脉の好転まで。